



SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長: 田中丸善弥 幹 事: 芹野 隆英
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: 佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 27 年 11 月 25 日

第 3,192 回例会

NO 20

《本 日》 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名)・出席 47 名・免除者欠席 11 名・欠席 17 名・ビジター 0 名・出席率 62.66%

《前々回》 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名)・出席 56 名・免除者欠席 7 名・欠席 12 名・メークアップ 12 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 田中丸善弥

皆さん今日は。本日が11月最後の例会となります。街では「きらきらフェスティバル Vol.20!」も始まりました。



(11月18日(水)~12月25日(金))

さて、23日(月)は勤労感謝の日でした。勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあうことを趣旨とするものです。これは、宮中行事の「新嘗祭」(にいなめさい、収穫に感謝する日)がルールだそうです。

ロータリーでは職業奉仕という日々の活動を行っていますが、これは職業を通じて社会の色々なニーズを満たすことかと思えます。奉仕とは他人のために何かすること。自らの道德能力の向上、人の模範となることなど、それらを考えるよい日ではなかったかと思えます。

また、去る11月20日(金)には、第5回市内8RC会長・幹事会がありました。先日の地区大会の各クラブでの感想や其々の会員の増強をどうするか等を話し合いました。市内のクラブの横のつながりを強化するよい機会とさせていただきました。

いよいよ、来月にはクラブ協議会も控えておりますが、会員の皆様におかれましては、どうぞ宜しくお願いいたし、挨拶いたします。

例会記録

○ロータリーソング「四つのテスト」

幹事報告

幹事 芹野 隆英

1. 国際ロータリー日本事務局 経理室
2015年12月のロータリーレートは、1ドル=120円です。(現行=120円)
2. RI第2740地区 ガバナー 太田 善久さん
副ガバナー 宮崎 清彰さん
地区大会実行委員長 井上洋一郎さん
地区大会 ご出席・ご協力のお礼が届いております。
3. 第2740地区ガバナー事務所
2740地区ホームページ更新のお知らせ
ホームページアドレス <http://www.d2740.org/>
4. 平戸RC 会長 福田 詮さん
記念事業実行委員長 渡邊 英二さん
創立55周年記念式典並びに祝賀会ご案内
日 時/平成28年2月20日(土)
式 典 16:30~17:30
祝賀会 17:30~20:00
会 場/サムソンホテル
登録料/10,000円
5. 佐世保東南RC 会長 古川 正美さん
クラブ事務局移転のお知らせ

2015年11月15日より

新住所：〒857-0058

佐世保市上町2-12 建設会館4F

TEL:0956-76-8642 FAX:0956-76-8643

6. 小城RC 会長 大家 和義さん

クラブ事務局移転のお知らせ

2015年11月30日より

新住所：〒845-0001

佐賀県小城市小城町253番地21

ゆめぷらっと小城3F

小城商工会議所内

※TEL、FAX等の変更はありません。

委員会報告

青少年奉仕委員会 委員長 坂本 敏

先週の水曜日、インターアクトの例会に田中丸会長と出席しました。先生とインターアクトメンバー1名のさびしい例会でしたが、朗報があり、顧問の先生が担当されているクラスの生徒が10数名、インターアクトのメンバーになるといううれしい報告があり、今後の活動が楽しみです。歳末助け合い街頭募金から参加という事で、我々ロータリアンも協力したいと思います。参加をお願いします。

街頭募金開催日時、場所は4面に掲載しております。



囲碁・将棋同好会より

囲碁・将棋同好会幹事 平尾 幸一

先週11月18日(水)、総勢18名で囲碁・将棋大会を開催し、皆さん大いに盛り上がりました。田中丸会長、大久保親睦活動委員長、応援と差し入れありがとうございました。参加された皆さん、次回開催にご期待ください。



慶 祝

親睦活動委員会 松本 淳也

○結婚記念月のお祝い

- 橘高 克和・さなえさん ご夫妻 (6日)
- 円田 浩司・桂子 さん ご夫妻 (7日)
- 増本 一也・光子 さん ご夫妻 (7日)
- 長富 正博・桂子 さん ご夫妻 (7日)
- 星 裕・志保 さん ご夫妻 (9日)
- 松尾 貴・真理 さん ご夫妻 (11日)
- 長浜 陽介・理恵 さん ご夫妻 (17日)
- 松尾 文隆・由美 さん ご夫妻 (23日)

ニコニコボックス

親睦活動委員会 池田 真秀

田中丸善弥会長、高瀬 宏滋さん
 円田 浩司さん、米倉洋一郎さん
 土井 弘志さん、池田 真秀さん
 橘高 克和さん、坂本 敏さん
 川口 博樹さん、梅村 良輔さん
 岡村 一郎さん、前田 文智さん
 古賀 巖さん、大久保利博さん
 黒木 政純さん、中川 知之さん
 上野会員の卓話に期待します。

井上 齊爾さん、平尾 幸一さん
 増本 一也さん

先週の囲碁・将棋大会、18名のご参加を頂きありがとうございます。田中丸会長にも応援に来て頂き、楽しい時間が過ごせました。ありがとうございました。

橘高 克和さん、円田 浩司さん
 増本 一也さん、松尾 貴さん
 松尾 文隆さん、星 裕さん

結婚記念日のお祝いありがとうございます。

高瀬 宏滋さん

誕生祝いを頂きました。ありがとうございました。

ニコニコボックス

本日合計 26,000 円

累 計 478,000 円



歌の時間



指揮 井手 孝邦

「里の秋」合唱

作詞：斎藤信夫
作曲：海沼 實

里の秋：日本の童謡。2007年(H19年)「日本の歌百選」に選ばれた。1番ではふるさとの秋を母親と過ごす様子、2番では夜空の下で遠くにいる父親を思う様子、3番では父親の無事の帰りを願う母子の思いを表現している。

1945年(S20年)12月24日、ラジオ番組「外地引揚同胞激励の午后」の中で、「兵士を迎える歌」を流すことになり、急遽、斎藤信夫の「星月夜」の歌詞を変え、それに海沼 實が作曲し、曲名も「星月夜」から「里の秋」に変更され、全国に向けて放送された。

「星月夜」は1番から4番まで歌詞があり、1,2番は「里の秋」と同じ歌詞だが、後半の3,4番は「父さんの活躍を祈ってます。将来ボクも国を護ります」という様な内容で締めくくられている。



卓話



『VUCA(ブーカ)の時代に
必要なもの』

損害保険ジャパン日本興亜(株)
佐世保支社長

上野 好章さん



VUCA(ブーカ)とは、

V=VOLATILITY (不安定)

U=UNCERTAINTY (不確定)

C=COMPLEXITY (複雑)

A=AMBIGUITY (曖昧 あいまい)

私なりの理解では、「これからの世の中は、不安定で変化が激しくて、先が読めないし、あいまいもこ曖昧模糊としている、ということであろうと思います。

今日は、このような「ブーカの時代」に必要なものは何だろう…?と人に聞いた話や本で読

んだ話をもとに、勝手な私見ですが、「信念」と「教養」についてお話したいと思います。

まずは、「信念」についてです。

先ほど申しあげたとおり、先が読めず曖昧模糊としたブーカの時代において必要なものの一つは、エクセルによる分析やデータ解析などの精緻な情報分析ではなく、「信念に基づくシナリオ」であると思います。

決して精神論を申しあげるつもりではないのですが、「信念」とは、人から教わったものではなく、自分で考え抜いたものでなければならないという意味であって、自分で考えて考えて考え抜いて「信念に至ったシナリオ」という意味です。そういう意味での「シナリオ」とは、本当に難しいと思っています。そのためは、「地頭力」が必要であるとも考えます。生のもを見て、現実を直視して、自分で感じて、話して、体験して、なぜだろう?どうしてだろう?と一生懸命に自分の頭で考え抜く力、これを「地頭力」と理解しています。そして、この地頭力の原点となるのは「教養」であろうと考えます。

「教養」といっても鼻につく「教養」ではなく、いろいろなことを学び、経験して習得するものであり、「偏差値の高い学校に現役で受かるためのIQではなく、EQ(心の知能指数)を磨くことである」と思うのです。答えのない時代、激動の変化の時代に、社会で必要とされるのは、「IQ」よりも「EQ」なのだと思っています。

こんなことを考えているときに、日経新聞の広告欄に何度か掲載された、ライフネット生命でぐちほるあきの代表取締役会長兼CEOである出口治明氏著書、幻冬舎新書の「本物の教養」という本を読みました。

こんな書き出しで始まっています。

教養というと、いろいろな知識や情報をどれだけ持っているかだと思われるかもしれないが、そうではない。

有名ブランド シャネルの創業者「ココ・シャネル」の言葉を例にとって、この本の基本的な立ち位置を説明し、今日は、どの謎が解けるのかとワクワクしながら、好奇心をもって毎日を生きてきた。そんな気持ちのあり方が、その人の教養を深める強力なエンジンになるのではないか。すなわち、教養とは生き方の問題であり、知識は大切けれども、知識=教養ではないと説いています。

教養を身につけるには、手段としての知識が必要にはなる。例えば、先般、話題になったラグビーですが、詳しくは知らなくても、ある程度のラグビーに関するルールや知識があれば、テレビ放映を観戦する楽しさが変わってくるというものです。知識は、その人の興味の範囲を広げてくれるものであり、それが「教養化した知識」となるのだということです。

また、教養のもう一つの本質は、「自分の頭で考える」ことにあると言っています。ものごとを自分の頭で考え、自分の言葉で自分の意見を表明する。知識に加えて、それを素材にして「自分の頭で考える」ことが教養なのです。自分の頭で考える際には、「腑に落ちる」という感覚が一つのバロメーターになります。この感覚が非常に重要であると言っています。

誰かの話をちょっと聞いただけで「分かった」「なるほど、そのとおりだな…」と思い、翌日、反対の意見を持った人の話を聞いて「もっともだな…」と思ったのでは、意味がありません。

自分の頭で考えて、本当に、「そうだ、そのとおりだ!」と腹の底から思えるかどうか大切なのだということです。

人間が意欲的、主体的に行動するためには、「腑に落ちている」ことが必須であり、このことは、部下や従業員を指導・育成していくうえでも非常に大切な要素であるとも考えます。

このように、ご紹介していくと、ほとんどが「当たり前」と思われることばかりかもしれませんが、胸に手を当てて考えると、日常の仕事を通じて、実際にどれだけ「自分で考えて考えて、判断や方針を導き出すことができているか?」との自問自答に疑問符がつきます。

まだまだ、本物の教養など習得できずにいる自分を省みながら、皆さまの考えや生き方を参考にさせていただきながら、成長を図っていききたいと、あらためて感じています。

最後に、「不安定で変化が激しくて、先が読めないし、曖昧模糊としている。何が起きるかわからない、ブーカの時代」、「信念に基づくシナリオ」と「自分の頭で考える本物の教養」を身につけてるべく精進したいと誓い、締めくくりたいと思います。

以上

* 12月 例会卓話者予定 *

- 12月9日 佐世保史談会
会長 中島 眞澄 様
- 12月16日 佐世保観光大使 内川 優依 様
(株)十八銀行 佐世保支店勤務
諸国 麻椰 様
(長崎県立大学3年生)
- 12月23日 祝日休会日
12月30日 指定休会日

* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 *

12月の例会は休会となっております。

歳末助け合い街頭募金活動のご案内

日時/12月5日(土) 10:30~12:30

場所/島瀬公園前(アーケード)

日時/12月12日(土) 12:00~13:30

場所/親和銀行前(アーケード)

日時/12月20日(日) 11:00~12:30

場所/親和銀行前(アーケード)

※会員の皆様、どうぞお近くに来られましたらご協力ください。

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

日時/12月10日(木) 開始19:30~

会場/ホテルオークラJRハウステンボス

日時/12月24日(木) →

クリスマス例会として12月17日(木)

開始19:00~に変更

会場/ホテルオークラJRハウステンボス

*西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。

*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当: 土井 弘志)

(カメラ担当: 田口 恵介)

クラブ会報委員会

委員長 岡村 一郎
副委員長 土井 弘志

委員 河原 忠徳・吉田 英樹・大神 吉史
田口 恵介・上野 好章